

指標27 救急車受け入れ割合

救急車受け入れ割合
代表者：鶴田 真 クオリティマネージャー：林 幸恵
QM委員会委員10名

指標の意義

「救急車受け入れ割合は、救急隊からの搬送の要請に対して、どれだけの救急車の受け入れが出来たかを示す指標で、各病院の救急診療を評価する指標となります。地域医療への貢献を示す指標にもなります」

当院ではお断りした救急患者の分析を行い、本来受け入れ入れるべきケースがどの程度あったのか、受け入れを可能にするための対策が検討できるかを分析している

Plan(計画)

- 【データ分析】毎月外来医事課で救急車の受け入れ状況のデータをまとめる。
- 【データ分析】毎月の救急医療運営委員会および救急外来運営会議でデータの分析と対策を検討する

Do(実行)

- 【会議開催】毎月の会議の開催を継続して実施

Action(改善)

- 【データ分析】救急医療運営委員会ではお断りの内容を検討し、当直医が適切に判断し救急隊にマネジメントしている事例を除き、データの修正を行った。その結果、お断り件数が1割ほど下がった。入院ベッド不足が一番の理由となり、病床確保対策を引き続き検討する必要がある。

Check(評価)

- 【データ分析】データは纯粹にお断りした件数を拾っているが、内容として当院では対応できない脳疾患、心・血管系緊急手術や専門医を希望するなどの事例もあることが分かりお断りの内容の検討とデータの修正も必要、その上で対策を検討することが必要



活動内容

調査

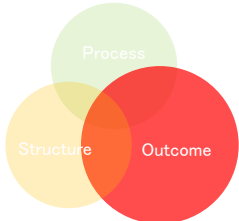
- 毎月の調査と救急医療運営委員会、救急外来運営会議で分析と対策を継続して実施する

援助

-

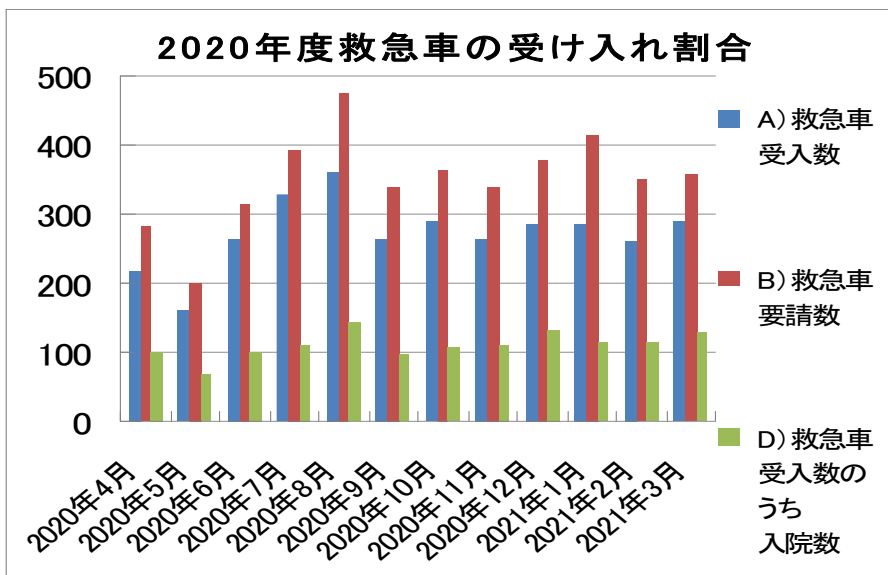
還元

- 各職種、部門特に医局にデータを還元する
- 患者さん、友の会の会員さん、地域みなさんにデータを還元する
- 病院ホームページへの掲載、職員向けニュースの作成など



指標27 救急車受け入れ割合

代表者：鶴田 真 クオリティマネージャー：林 幸恵
 QM委員会委員10名
救急車受け入れ割合



	A) 救急車受入数	B) 救急車要請数	D) 救急車受入数のうち入院数	救急車受入割合
2020年4月	218	284	100	76.8%
2020年5月	163	200	68	81.5%
2020年6月	264	314	101	84.1%
2020年7月	328	394	113	83.2%
2020年8月	363	476	144	76.3%
2020年9月	267	341	98	78.3%
2020年10月	291	365	108	79.7%
2020年11月	266	340	113	78.2%
2020年12月	287	381	134	75.3%
2021年1月	287	416	115	69.0%
2021年2月	263	351	115	74.9%
2021年3月	291	358	131	81.3%

分子 A) 救急車受け入れ数 B) 救急車要請数
 C) 救急車受け入れ割合 D) 分母のうち入院割合
分母 A) B) なし C) 救急車要請数 D) 救急車受け入れ数